

インフルエンザ(2025 年第 48 週)疫学情報

《コメント》

2025 年第 48 週の定点当たり報告数は 44.99(患者報告数 173,380)となり、前週の定点当たり報告数 51.12 よりも減少した。都道府県別では埼玉県(74.81)、長野県(72.49)、福島県(64.81)、岩手県(61.50)、栃木県(58.83)、茨城県(58.49)、大分県(57.90)、新潟県(57.84)、愛知県(55.73)、群馬県(55.09)、青森県(53.75)、京都府(53.03)、岐阜県(52.93)、山形県(52.90)、宮城県(51.11)の順となった。全国 47 都道府県中、19 都道府県では前週の報告数よりも増加し、28 都道府県では前週の報告数よりも減少した。

基幹定点医療機関から報告された、インフルエンザによる入院報告数は 2,261 例であり、前週(2,068 例)から増加した。47 都道府県から報告があり、年齢別では 1 歳未満(148 例)、1～4 歳(395 例)、5～9 歳(335 例)、10 代(166 例)、20 代(48 例)、30 代(47 例)、40 代(34 例)、50 代(61 例)、60 代(118 例)、70 代(322 例)、80 歳以上(587 例)であった。

国内のインフルエンザウイルスの検出状況をみると、直近 5 週間(2025 年第 44 週～2025 年第 48 週)では、AH3 亜型が 249 件(95%)、B 型が 7 件(3%)、AH1pdm09 が 5 件(2%)の順であった。

詳細は国立健康危機管理研究機構感染症情報提供サイト(<https://idw.info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/article/influenza/article.html>)を参照されたい。